相談の記録 ～書き方・使い方～

ライフサポートファイルの準備にご協力いただいた保護者さまから頂いたご意見など、記録の書き方・使い方のポイント3つをご紹介いたします。

ポイント① 先生からのアドバイスを１冊にまとめよう！

・いつでも読み返せるので、子育てのヒントが見つかってくるかも。
おうちで無理なくできそうな、ちょっとした工夫が生まれるかも。

・家族やまわりの人に言葉で伝えるって難しい……。
でも、先生から聞いたことメモがあると見てもらえたり、
発達の検査結果や診断内容があると伝わりやすかったりします。
・医療・相談機関から提供された資料等も一緒に入れておくと安心。

ポイント② のちのちの手続きで情報がお役立ち！

・人生の節目にいろいろ手続きをするときに、医療機関の初診日や、今までの受診記録が必要になります。受診日や医療機関名、内容をメモしておきましょう。
・かかりつけ医だけでなく、紹介状を書いてくれた病院も記録しておきましょう。あとで思い出すのはひと苦労です。

ポイント③ 書き方・使い方は人それぞれ！

・毎日いっぱいいっぱいで、どうしたらいいか分からないときも。そんなときは、無理して書かないことにしています。あとから書き足せるし。

・書くことが苦手なので、なるべく書かなくていいように作っていきたいです。とりあえず先生から貰った書類を入れる用にポケットを増やして診察券や名刺用にカードポケットもつけてみました。

～記 入 例～

年月日（年齢）	相談内容
令和〇年〇月〇日（５歳）	発音が気になる。
機関名（担当者）	先生からのアドバイスや聞いたこと
ひまわり発達相談センター（あかねはま先生）	初めて電話をした。この２点アドバイスがあった。 ・発音を間違えても言い直しはさせない ・子どもの話す内容をよく聞いてあげる 思ってたよりも気軽に話せた。〇月〇日に直接会って話をする。
年月日（年齢）	相談内容
令和〇年〇月〇日（５歳）	発音が気になる。サ行がタ行。砂糖（たとう）。魚（たかな）。
機関名（担当者）	先生からのアドバイスや聞いたこと
ひまわり発達相談センター（茜浜先生・秋津先生）	着席して話を聞けることをほめられて、太郎、うれしそう。 おうちで気をつけることは、発音やしゃべり方について指摘したりアドバイスしたりしようとしないこと。今度、ことばの先生に会う。発音の検査をすると様子がわかるらしいので安心。

相談の記録

年月日（年齢）	相談内容
機関名（担当者）	先生からのアドバイスや聞いたこと
年月日（年齢）	相談内容
機関名（担当者）	先生からのアドバイスや聞いたこと
年月日（年齢）	相談内容
機関名（担当者）	先生からのアドバイスや聞いたこと
年月日（年齢）	相談内容
機関名（担当者）	先生からのアドバイスや聞いたこと